「平成２５年度「省エネ型ロジスティクス等推進事業費補助金(省エネルギー型物流を推進するための課題、海外における事例等に関する調査事業)」に係る企画競争募集要項

公益社団法人 日本ロジスティクスシステム協会

このたび、公益社団法人 日本ロジスティクスシステム協会(以下「協会」という)は経済産業省により公募された「平成２５年度「省エネ型ロジスティクス等推進事業費補助金(荷主の物流効率化促進に資する先行的取組の実証事業)」に係る補助事業者として採択されました。

そこで「省エネルギー型物流を推進するための課題、海外における事例等に関する調査事業」の委託を行うにあたり、委託先を公募により選定することといたしました。応募される方は、以下の公募要領に従い、応募書類を協会まで提出してください。

公募要領

１．件名

「省エネルギー型物流を推進するための課題、海外における事例等に関する調査事業」

２．背景と目的

東日本大震災以降、省エネルギー化の抜本的強化が必要となる中で、我が国の最終エネルギー消費量の約２割を占める運輸部門、とりわけ物流分野の省エネルギー化を進めることが重要視されています。物流分野の省エネルギー化に関しては、我が国産業を担う企業の経済活動･成長を維持しつつ、これを推進することが必要であり、このため、物流体系の効率化を基軸とした対策が強く要請されています。

上記の背景に照らし、本事業では、荷主が行う物流効率化を通じた省エネルギー型物流を推進するための課題、海外における事例等に関する調査を実施し、課題等の調査･研究、分析を行うことを目的とします。

３．調査テーマ

本事業では下記のテーマを想定し、委託先を公募により選定いたします。

1) 海外の荷主に関する省エネルギー及び効率的な物流を実現している事例、並びに環境配慮及び高度なロジスティクスを実現する物流人材育成に関する調査

(1)調査の目的

本調査では、以下の2点を調査し、グリーンロジスティクスのさらなる推進をはかるとともに、人材育成の側面から我が国企業の国際競争力強化に資することを目的とします。

①持続可能社会を実現するロジスティクスを構築するため、海外のロジスティクス分野における環境負荷低減への取組事例、取組の背景(ex.商慣行の違い等)の情報を得て、我が国のグリーンロジスティクスのさらなる推進のための情報を得るとともに、ASEANへの技術協力として講演会を実施します。

②グローバル競争時代におけるロジスティクスの効率化、環境負荷低減に貢献する海外のロジスティクス人材育成の実態を把握するとともに、今後のロジスティクス部門において求められる人材とその育成方法、ならびにASEANにおいて求められる物流人材育成プログラムについて調査・検討を行います。

(2)調査の内容

以下の項目の調査を実施します。

①ロジスティクス環境調査

・海外(欧米･ASEAN)における物流政策の内容と環境政策の動向の調査

・省エネルギー化やロジスティクス高度化に向けた誘導政策、規制策の調査

・海外企業でグリーンロジスティクスを実現している事例の収集

・産官学連携によるグリーンロジスティクスへの取組事例の収集

②ロジスティクス人材調査

・ロジスティクス人材に求められるスキルの調査(主に欧米)

・物流発展段階と人材育成実施状況の調査(主にASEAN)

・政府によるロジスティクス効率化支援策、ならびにロジスティクスに関わる政策の調査

・日系進出企業のロジスティクス･物流上の課題の調査

・大学におけるロジスティクス人材育成の現状の調査

2) 輸送効率改善による省エネルギー方策の研究

(1)研究の目的

本研究では、輸送効率改善策として荷主企業による「輸送計画の見直し」及び「帰り荷の確保」に着目して、貨物自動車の省エネルギー化及び低炭素化を図るために、輸送効率を低下させている原因について調査を行い、改善のための方策を検討すると共に、改善の阻害要因になっていると考えられる事項を整理することを目的とします。

(2)研究の内容

以下の項目の調査･研究を実施します。

　①輸送効率低下の原因調査

　②輸送効率改善方策の検討

③輸送効率改善の阻害要因及び阻害要因を克服するための課題の整理

3) 製販配の物流機材の一貫利用による物流効率化のための調査研究

(1)調査の目的

国民生活に密着しておりかつ我が国全体の物流量に占めるシェアが大きい食品の物流に着目して、製配販を通じた物流機材の一貫利用による物流効率化方策を検討し、もってサプライチェーンを通じての物流部門の省資源化ひいては省エネルギー化及び低炭素化を推進することを目的とします。

(2)調査の内容

以下の項目の調査を実施します。

①物流機材の運用方法の現状調査

②物流機材のあり方の検討

③物流機材の運用方法の具体的課題の抽出

④物流機材の課題とあり方とのギャップ調整の検討

4) コンテナラウンドユースの実態調査とモデル作成

(1)調査の目的

本調査は、海上コンテナ輸送の現状を把握すると共に関係する主体を巻き込んで実現可能性のあるコンテナのラウンドユースのモデルを作り、ラウンドユースの実現に必要な環境整備を行うことで海上コンテナの輸送効率を改善し、もって物流部門の省エネルギー化及び低炭素化を推進することを目的とします。

(2)調査の内容

以下の項目の調査を実施します。

①内陸でのコンテナ輸送の実態調査

②コンテナラウンドユースの効果の推計

③コンテナラウンドユースの形態の整理と実現可能性の検討

④「仮称・コンテナラウンドユース推進ガイドライン(案)」の作成

5) RFID情報の標準化による物流の効率化

(1)調査の背景・目的

本調査では、我が国の主要産業におけるRFID利活用の現状と課題を把握したうえで、企業コードや品目コードなどRFIDに書き込む情報項目や書き込む順番、コードの桁数などを国際標準に準拠させ、関係者間で必要な情報を共有するための運用ガイドラインを策定します。運用ガイドラインの普及・啓発により多数の関係者間におけるRFIDの効果的な活用を促進し、荷主間連携による共同配送など配送頻度の削減や積載効率の向上によるCO2の削減、もってサプライチェーンの全体最適の観点から物流部門の省資源化ひいては省エネルギー化及び低炭素化を推進することを目的とします。

(2)調査の内容

以下の項目の調査を実施します。

①RFIDの利活用の現状と課題の把握

②国際標準への準拠のための取組み

③RFID活用によるロジスティクス効率化の運用ガイドラインの策定

6) 物流情報システムの連携、物流情報の可視化による物流の効率化

(1)調査の目的

本調査では、グローバルロジスティクスにおける物流関連サービス、必要情報の分類整理と現状の把握から、グローバルロジスティクスに関わる事業者や公的機関の物流情報システムがシームレスに連携されたあるべき姿(グランドデザイン)を明確化します。さらに、荷主サプライチェーンの観点から、現在各プレイヤーが使用している様々な物流情報システムの現状･課題を踏まえたうえで、国境をまたいだ物流情報サービスの提供やそのために必要なインターフェイスやコード標準化のあり方等について検討を行い、解決の方向性についてとりまとめるとともに、現在の物流情報システムの利活用のガイドを示し、グローバルロジスティクスの効率化、輸送効率の改善を図り、もって物流部門の省エネルギー化及び低炭素化を推進することを目的とします。

(2)調査の内容

①グローバルロジスティクスにおける各種物流サービス、情報システムの整理

②グローバルロジスティクスにおける情報システムのあるべき姿(グランドデザイン)の提示

③物流情報システムの連携を進めるにあたって必要となるインターフェイスやコードの整理

４．応募資格

1) 当該技術または関連技術についての調査実績を有し、かつ、調査目標の達成及び調査計画の遂行に必要な組織、人員を有している企業

2) 当該調査事業を円滑に遂行するために必要な経営基盤を有し、かつ、資金等について十分な管理能力を有していること。

５．調査期間

原則として契約締結の日から平成２６年２月２８日(金)まで

６．応募提出書類

以下の資料(様式１以外の資料は書式自由)を「16．問い合わせ先･応募書類送付先」まで郵送･宅配にて提出してください。

なお、複数テーマへの応募も可能ですが、応募テーマごとに資料を提出してください。

1) 添付の申請書(様式１)

2) 調査目的、調査内容、調査方法、調査スケジュール、実施体制等を含む企画提案書

：A4版 10枚以内

3) 費用の内訳(様式２の費目による積算)：A4版 1枚(下記※印の書類は枚数に含めない)

※外部への支払いが生じる場合は、費用の算出根拠(見積等)を添付してください。

※人件費については、人件費単価の設定根拠(計算式)を添付してください。

4) 応募会社及び担当者のこれまでの本テーマ関連の実績又は経歴：A4版 1枚

5) 事業の効果の把握及び評価に関する説明書

6) 会社案内(会社の概要がわかるもの)

7) 直近の決算報告書

７．提出方法

上記「６．応募提出書類」を纏めた企画提案書を、郵送･宅配にて３部提出してください。

※送付履歴の確認が可能な方法にて提出してください。

※ラベルの備考欄等に「省エネ型調査事業応募書類」と明記してください。

※応募書類や追加資料は、審査のみに使用します。なお、提出いただいた書類等は返却いたしませんのでご留意ください。

８．公募期間及び説明会の日程

1) 公募期間

平成２５年８月２日(金)～ 平成２５年８月２３日(金)１７時００分まで(必着)

2) 説明会の日程

(1)開催日時：平成２５年８月１２日(月)１３時～１４時

(2)会場：公益社団法人 日本ロジスティクスシステム協会 会議室

東京都港区海岸1-15-1 スズエベイディアム3階

説明会への参加を希望する方は、「16．問い合わせ先･応募書類送付先」のメールアドレスへ、８月９日(金)１５時までにご連絡ください。連絡の際は、メールの件名(題名)を必ず「省エネルギー型物流に関する調査事業説明会出席登録」とし、本文に「所属組織名」「出席者の氏名(ふりがな)」「所属(部署名)」「電話番号」「ＦＡＸ番号」「E-mailアドレス」を明記願います。

なお、会場の都合により、説明会への出席につきましては、応募単位毎に２名まででお願いいたします。説明会の会場につきましては、ご登録頂きました、「E-mailアドレス」までご連絡いたします。また、出席者多数の場合は説明会を複数回に分け、時間を調整させて頂くことがありますので、予めご了承ください。

※委託公募にエントリーされる企業は、必ず説明会に参加してください。

※説明会への参加が困難な企業は、事前にご相談ください。

９．委託先の選定

1) 以下の審査基準に基づき、協会にて予備選定を行った後、有識者により本選定を行います。なお、追加資料の提出依頼、ヒアリングを実施することもあります。

(1)組織体制及び実施担当者の適切性

(2)調査スケジュールの適切性

(3)調査の企画内容の適切性

(4)調査の実施方法の適切性

(5)調査内容に対する知識･理解度

(6)調査仮説の適切性

(7)省エネルギー効果推計方法の適切性

(8)調査･分析能力

(9)調査の経済性

(10)類似調査の実績 等

2) 委託先の選定は非公開で行い、審査の経過等に関する問い合わせには一切応じませんこと、ご了承ください。 選考結果については、平成２５年９月上旬頃(予定)に協会ホームページに公表します。

10．調査費用(税込)

|  |  |
| --- | --- |
| 調査テーマ | 費用(上限) |
| 1)海外の荷主に関する省エネルギー及び効率的な物流を実現している事例、並びに環境配慮及び高度なロジスティクスを実現する物流人材育成に関する調査 | 980万円 |
| 2)輸送効率改善による省エネルギー方策の研究 | 1,280万円 |
| 3)製販配の物流機材の一貫利用による物流効率化のための調査研究 | 690万円 |
| 4)コンテナラウンドユースの実態調査とモデル作成 | 1,360万円 |
| 5)RFID情報の標準化による物流の効率化 | 550万円 |
| 6)物流情報システムの連携、物流情報の可視化による物流の効率化 | 550万円 |

11．調査結果の報告形式

1) 月次報告(電子媒体) 契約締結の翌月より平成２６年１月まで毎月末

2) 報告書の提出(電子媒体: word, excel等、紙媒体)

12．秘密の保持

企画提案書等提出書類は、本委託先選定のためにのみ利用し協会において厳重に管理します。

13．個人情報の取扱について

協会では、個人情報の保護に努めております。詳細は、当協会のプライバシーポリシー(http://www.logistics.or.jp/privacy.pdf)をご覧ください。

1) 取得した個人情報については委託業務推進のうえでの情報管理(連絡･資料送付等)のために利用します。

2) 提供いただいた個人情報は、上記の利用目的以外で利用することはありません。

(ただし、法令等により提供を求められた場合を除きます。)

14．著作権

1) 受託者は、成果物の著作権(著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含みます。以下同じ。) を協会に無償で譲渡するものとし、著作者人格権を行使しないものとします。

2) 成果物については、第三者が権利を有する著作物(以下「既存著作物等」という。) が含まれる場合には、受託者は当該既存著作物の使用に必要な費用の負担及び使用許諾契約等に係わる一切の手続きを行うこととします。また、著作権関係の紛争が生じた場合一切受託者の責任において処理するものとします。

15．その他

1) 企画提案に関わる費用は、応募者の負担とします。

2) 委託費の支払いは委託費の額が確定した後に、委託先からの請求によりその支払いを行うこととします。

3) その他詳細については協会担当者と打ち合わせのうえ、行うものとします。

16．問い合わせ先･応募書類送付先

公益社団法人 日本ロジスティクスシステム協会 省エネ型調査事業担当 宛

〒105-0022 東京都港区海岸1-15-1 スズエベイディアム3階

TEL:03-3436-3191 FAX:03-3436-3190

E-mail shoene@logistics.or.jp

URL http://www.logistics.or.jp/

(様式１)

|  |  |
| --- | --- |
| 受付番号  ※記載不要 |  |

公益社団法人 日本ロジスティクスシステム協会 宛

平成２５年度「省エネルギー型物流を推進するための課題、海外における事例等に関する調査事業」申請書

|  |  |
| --- | --- |
| 応募テーマ |  |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 申請者 | 企業・団体名 |  | |
| 代表者役職 |  | 印または署名 |
| 代表者氏名 |  |
| 所在地 |  | |
| 連絡担当窓口 | 氏名(ふりがな) |  | |
| 所属(部署名) |  | |
| 役職 |  | |
| 電話番号  (代表・直通) |  | |
| Ｅ－ｍａｉｌ |  | |

(様式２)

|  |  |
| --- | --- |
| 受付番号  ※記載不要 |  |

平成２５年度「省エネルギー型物流を推進するための課題、海外における事例等に関する調査事業」

予算書

|  |
| --- |
| Ⅰ　人件費 |
| Ⅱ　事業費  ①旅費  ②会場費  ③備品費  ④外注費  ⑤印刷費  ⑥補助員人件費  ⑦その他経費(資料費、消耗品費等) |
| 小計　　　　　　　　　　　　　　　円 |
| Ⅲ　一般管理費((Ⅰ＋Ⅱ)×10%以内) |
| Ⅳ　消費税及び地方消費税 |
| 総額　　　　　　　　　　　　　　　円 |

※委員謝金、報告書製本費は協会負担。